

令和6年度県営経営体育成基盤整備事業

土地改良事業(変更)計画概要書

(区 画 整 理)

県 地 所 事 業 区 在 主 体 名 地 体 岩 小 一 岩 手 猪 関 手 県 岡 市 県

土地改良事業計画概要書

— 目 次 —

第1章	目的	1
第2章	地域の所在及び現況	1
第1節	地域の所在	1
第2節	現況	2
第3節	水利状況	4
第4節	営農状況	4
第5節	地域環境の概況	5
第3章	基本計画	6
第1節	計画の要旨	6
第4章	工事又は管理の要領	7
第1節	工事の施工計画	7
第2節	管理の要領	7
第3節	予定工期	7
第5章	換地計画の要領	7
第1節	換地計画樹立の必要性	7
第2節	換地計画樹立の基本方針	7
第3節	土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積	8
第4節	非農用地の換地方法	9
第6章	費用の概算	10
第7章	効用	11
第8章	他の事業との関係	11
第9章	計画概要図	11

第1章 目 的

上段：変更後

下段：変更前

本計画地域は、岩手県一関市の中心部より西方約20kmの中山間地域に位置しており、地区内を南北に流れる一級河川小猪岡川とその支流の準用河川・普通河川沿いに広がる水田地帯である。

本地区の農地は、一部の10 a 区画を除き、大半は未整備で不整形の小区画であるとともに、農道が接しておらず田越しに通作しているか、農道が狭小であり、農業機械の通行に支障をきたしている。

また、水路は用排兼用の土水路で、断面が狭小で深さも浅いため、十分な排水機能が果たせず、農業機械の作業効率低下を来たすとともに、乾田化による高収益作物の導入が困難な状況にある。

このような地区の問題を解消するため、農業基盤を整備し、併せて、担い手への農地集積・集約化を促進し、地域農業の発展に資するものである。

地 積

(単位：ha)

市町村名 \ 現況地目	水 田	普通畑	樹園地	計	道水路等	その他	合 計
一関市	84.9	0.9	〃	85.8	6.7	0.6	93.1
	103.5	1.2	—	104.7	6.9	5.7	117.3

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地域の所在

岩手県 一関市 巖美町 地内

第2節 現 況

上段：変更後
下段：変更前

第1項 地形、地質及び土壌

本計画地域は標高165～320mに位置し、地形勾配は1/20～1/140程度の傾斜を成している。

地質は水積と風積による非固結堆積岩及び固結堆積岩で、土壌は強グライ土壌強粘土還元型、黒色土壌粘土火山腐食型となっている。

第2項 気 象

(1) 一般気象

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成26年3月版)

観測所名	かんがい期	非かんがい期	計	備	考
一関地域気象観測所			又は平均		
観測期間	5月～8月	9月～4月			
平均気温(℃)	20.5℃	7.3℃	11.7℃		
降水量	平均(mm)	562.8mm	652.4mm	1,215.2mm	
	基準年(mm)	—mm	—mm	—mm	
降水日数	平均(日)	45日	80日	125日	
	基準年(日)	—日	—日	—日	
根雪期間	—月—日～—月—日	—月—日	—日間		
無霜期間	4月29日～11月2日	11月2日	188日間		
最多風向	NNW	最大風速 (風向)	10.0 m/s ()	最多風向発生時期	—
				最大風速発生年月日	—

(2) 特殊気象

上段：変更後
下段：変更前

〃
(計画樹立参考資料 平成 26年3月版)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
祭時地域雨量観測所																
観測期間 〃 M31年～H24年																
最大日雨量 (mm)	300.0	S63. 8. 29	1/244	219.0	S62. 8. 17	1/28	214.0	H2. 9. 20	1/24	189.0	H1. 8. 27	1/12	178.0	H6. 9. 30	1/9	
最大時間雨量 (mm)	75.5	H24. 10. 1	1/202	61.5	H24. 9. 12	1/52	55.0	S63. 8. 29	1/27	49.0	H19. 6. 6	1/15	19.0	H2. 10. 17	1/15	
最大4時間雨量 (mm)	167.5	H24. 10. 1	1/118	154.5	H24. 10. 1	1/70	152.0	S63. 8. 29	1/63	151.5	H24. 10. 1	1/62	134.0	S63. 8. 29	1/30	
最大3日連続雨量 (mm)	422.0	S63. 8. 30	1/373	422.0	S63. 8. 29	1/373	367.0	S63. 8. 31	1/123	287.0	S44. 7. 30	1/23	277.0	H1. 8. 28	1/19	
最大連続旱天日数 (日)	31	S39. 7. 20	—	25	S60. 7. 23	1/45	25	S52. 7. 14	1/45	23	H15. 6. 2	1/18	23	S46. 7. 19	1/18	

上段：変更後

下段：変更前

第3節 水利状況

第1項 用水状況

”

本地区の平場については、一級河川小猪岡川、準用河川小猪岡川、普通河川蛇沢川、高畑川、小猪岡平沢川、帯根沢川に設置された頭首工及び揚水機から、沢沿いについては、渓流水やため池から取水している。

また、水路は土水路が多く、漏水が生じており、加えて法面の崩落等が見られ、用水供給が不安定になっているとともに、水管理及び維持管理等に多大な労力と経費を費やしている状況にある。

第2項 排水状況

”

本地区では、山間部からの排水が地区内排水路に流入しているが、大雨の際は地区内水路の断面不足により越水する恐れがあり、農作物への被害が懸念される。

また、水路深さが浅く十分な排水機能を果たしておらず、農業機械の作業効率の低下を来たしているとともに、土水路が大半のため水管理及び維持管理にも多大な労力と経費を費やしている。

第4節 営農状況

専業別農家数及び平均経営耕作面積

2020農林業センサス

2010農林業センサス

戸数		項目	専業	第一種兼業	第二種兼業	計	一戸当たり平均経営耕地面積	田	普通畑	その他	計	地域指定等
								ha	ha	ha	ha	
専業別	” 一関市	戸数	—	—	—	—	一戸当たり平均経営耕地面積	—	—	—	—	振興山村地域 S47 S46 農業振興地域 S45 H5 特定農山村 S50 — 果樹濃密 H8 H28 酪農肉用牛 H5
		割合	20.7 %	10.2 %	69.1 %	100 %		73.2 %	8.7 %	18.1 %	100 %	
	” 本地区	戸数	10 戸	5 戸	41 戸	56 戸		1.51 1.48 ha	” 0.02 ha	” — ha	1.53 1.50 ha	
		割合	17.9 14.3 %	8.9 7.1 %	73.2 78.6 %	” 100 %		” 98.7 %	” 1.3 %	” — %	” 100 %	

上段：変更後
下段：変更前

経営農用地広狭別農家数

2020農林業センサス
2010農林業センサス

区 分	農 家 総戸数	経営農用地広狭別農家数									耕地の分散状況		一戸当たり	
		0.5ha 未満	0.5ha ～ 1.0ha	1.0ha ～ 1.5ha	1.5ha ～ 2.0ha	2.0ha ～ 3.0ha	3.0ha ～ 5.0ha	5.0ha 以上			自給的 農家	一戸当たり 団地数	団地当たり 面 積	平均耕地面積
〃	8,996	-	-	-	-	-	-	-			3,487	-	- a	201 a
一関市	12,838	1,794	3,268	1,812	1,000	777	467	286			3,434	-	-	138

第5節 地域環境の概況

本地区では、農地や水路に隣接する法面等の草地にはノダイオウ、カワラナデシコ[〃]の生育が、また農地に隣接するため池にはキンブナ、クロサンショウウオの生息が確認されている。

なお、本地区の磐井川対岸には骨寺村荘園遺跡が所在しており、一関市が策定した『一関本寺の農村計画 保存計画』における景観計画区域には、本地区の一部が含まれている。

第3章 基本計画

上段：変更後

下段：変更前

第1節 計画の要旨

〃

農地の大区画化、用排水路と農道の整備を実施し、農業生産性の向上をめざす。

また、暗渠排水を施し、耕地の汎用化を促進して、農作業効率の向上を図り、土地の生産性を高める。

環境との調和への配慮として、整備区域内の法面等に生育する希少種の植物は近傍の類似環境へ移植する。また、移植が難しい希少種が生育する区域は現況保存とするなど、生態系に配慮した計画とする。

事業計画一覧表

種 別		事 業 量	摘 要
区 画 整 理	整地工	74.5 96.6 ha	表土扱い A=74.5 ha 表土扱い A=96.6 ha
	道路工	14,707 17,479 m	砂利道 B=5.0 (4.0) ~4.0 (3.0) 橋梁2基 砂利道 B=5.0 (4.0) ~4.0 (3.0) 橋梁3基
	用水路工	17,452 19,635 m	管水路 (塩ビ管) 100~350m/m 開水路 BF300~BF900 揚水機1ヶ所 管水路 (塩ビ管) 75~350m/m 開水路 BF300~BF900 頭首工2ヶ所 揚水機1ヶ所
	排水路工	12,657 13,743 m	〃 鉄筋コンクリート排水フリューム 300×300~900×900
	暗渠排水工	73.4 94.7 ha	〃 吸水渠H=0.6m φ50~60m/m、集水渠 H=0.6m φ50~65m/m

第4章 工事又は管理の要領

第1節 工事の施工計画

〃

1. 工事は、全て県営事業による請負工事とする。
2. 施工は、農業土木工事共通仕様書による他、特記仕様書による。

第2節 管理の要領

〃

施工後の諸施設の管理は、市野々土地改良区及び一関市が行う。

第3節 予定工期

平成28年～令和10年

平成28年～平成33年

第5章 換地計画の要領

第1節 換地計画樹立の必要性

〃

効率的な営農を展開するため、担い手への利用権設定など利用集積の促進を図り、生産性の高い農業を実現できるよう換地計画を樹立する必要がある。

第2節 換地計画樹立の基本方針

第1項 従前地の地積の基準

〃

換地交付の基準とする従前土地の地積は、土地改良事業計画の決定の日の登記簿地積とする。但し、上記の日から2ヶ月以内に測量士等の資格者が測量した実測図に、隣接所有者の承諾書を添付して申出があった場合は、その申出の地積とする。

上段：変更後
下段：変更前

令和6年度県営経営体育成基盤整備事業

区分 換地区	地帯別グループ 別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	一戸当り目標団地数	区画畦畔の取り扱い
小猪岡1換地区 " " 小猪岡2換地区 " " 小猪岡3換地区 小猪岡4換地区 —	集落別集団化、 営農別集団化を 図る	各人の従前の土地が最も密集した位置を基本とするが、 育成すべき経営体の経営農用地を中心として農用地集積 が図られるように配慮する。	" " 1~2団地	" " 固定畦畔

第3項 清算の方法

" "
比例地積清算方式

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積

(単位：ha)

用途	公用公共用地				一般国有地	合計
	国有地	県有地	市町村有地	計		
機能交換	" " 0.0	" " -	6.0 6.9	6.0 6.9		6.0 6.9
計	" " 0.0	" " -	6.0 6.9	6.0 6.9		6.0 6.9

" "
岩手県一関市巖美町 地内

第4節 非農用地の換地方法

”
該当なし

上段：変更後
下段：変更前
(単位：㎡)

換地区名	区分	種類	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得 予定者	その他
全工区							
計							

上段：変更後
下段：変更前

第6章 費用の概算

単位：千円

事業名	総事業費		負担内訳				備考
	費目	金額	国費 (55%)	県費 (30%)	地元負担 (15%)		
					市町村 (10%)	農家 (5%)	
県営経営体育成基盤整備事業 (区画整理)	事業費	2,936,000 2,497,000	1,614,800 1,373,350	880,800 749,100	293,600 249,700	146,800 124,850	
	費目	金額	国費 (0%)	県費 (100%)	地元負担 (0%)		
					市町村 (0%)	農家 (0%)	
	工事雑費	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	
	事務費	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	
	計	2,936,000 2,497,000	1,614,800 1,373,350	880,800 749,100	293,600 249,700	146,800 124,850	

上段：変更後
下段：変更前

第7章 効用

区 分	項 目	全 体 (千円)		区画整理 (千円)		備 考
		便 益 額	所 得 額	便 益 額	所 得 額	
	農業生産向上効果 (作物効果)	23,079 30,026	2,333 692	23,079 30,026	2,333 692	
	農業経営向上効果 (営農経費)	131,064 116,567	132,473 118,040	131,064 116,567	132,473 118,040	
	農業経営向上効果 (維持管理)	△ 668 △ 665	559 659	△ 668 △ 665	559 659	
	農業の持続的発展に関する効果 (耕作放棄防止効果)	38 11	" -	38 11	" -	
	農村振興に関する効果 (非農用地等創設効果)	" -	" -	" -	" -	
	その他効果 (文化財の調査に関する効果)	" -	" -	" -	" -	
	その他効果 (国産農作物安定供給効果)	7,747 2,323	" -	7,747 2,323	" -	
	合 計	161,260 148,262	135,365 119,391	161,260 148,262	135,365 119,391	総費用総便益比 = 1.12 1.20

第8章 他の事業との関係

〃
該当なし

区分	事 業 名	事業主体	受益面積	工 期	事業費 (百万円)	前年度までの 進 捗 率	事業との関連

第9章 計画概要図

別 添



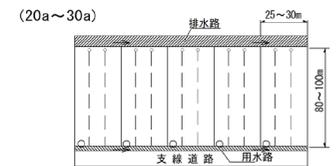
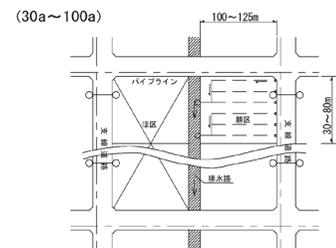
小猪岡地区地区 計画概要図

変更前

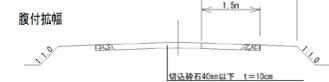
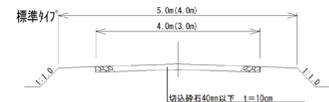


凡	例
水田	
畑	
雑種地	
計画排水路	
計画道路	
腹付拡幅道路	
暗渠排水	
県道(一定区域外)	
市道(一定区域外)	
林道(一定区域外)	

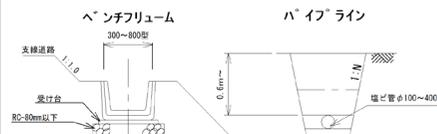
標準区画



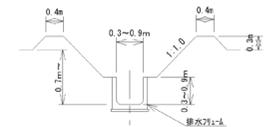
道路工



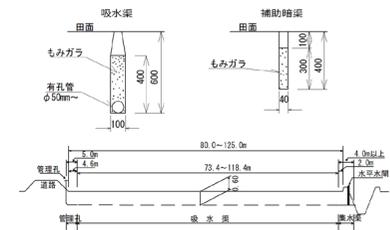
用水路工



排水路



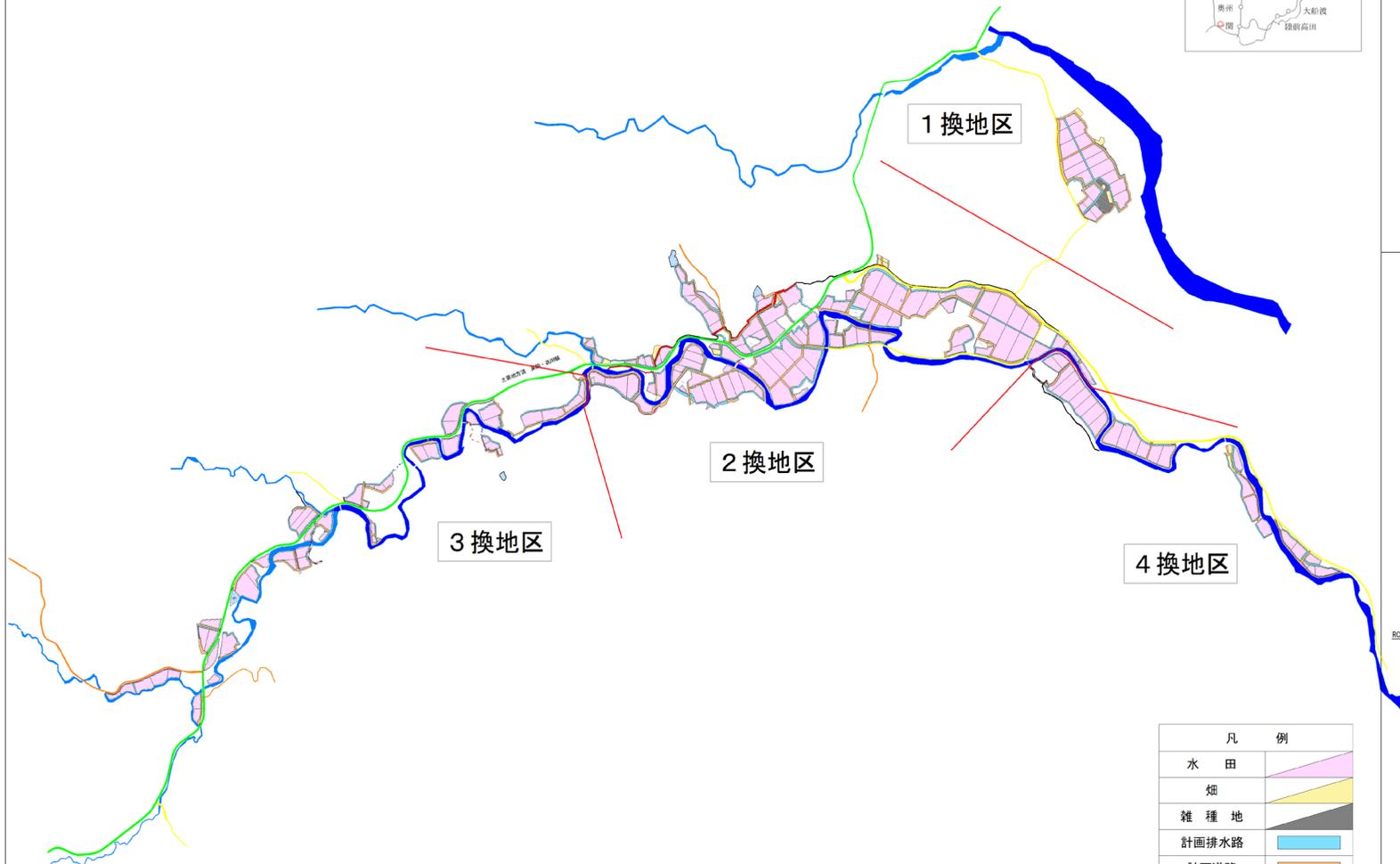
暗渠排水





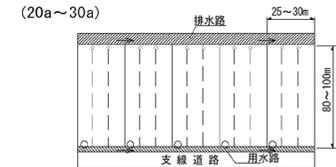
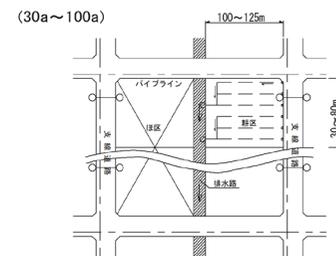
小猪岡地区地区 計画概要図

変更後

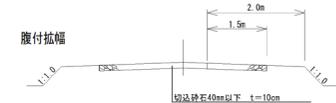
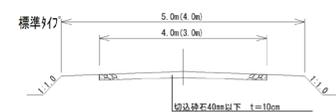


凡 例	
水 田	
畑	
雑 種 地	
計画排水路	
計画道路	
腹付拡幅道路	
暗渠排水	
県道(一定区域外)	
市道(一定区域外)	
林道(一定区域外)	

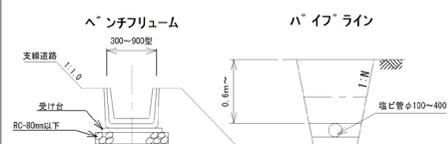
標準区画



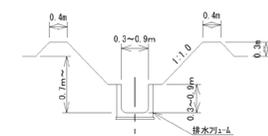
道路工



用水路工



排水路



暗渠排水

